



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月30日

上場会社名 株式会社 ドリコム 上場取引所 東
 コード番号 3793 URL <https://drecom.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 内藤 裕紀
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 後藤 英紀 TEL 050-3101-9977
 四半期報告書提出予定日 2023年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	8,380	3.7	2,100	47.9	2,025	46.7	1,166	36.7
2022年3月期第3四半期	8,078	△11.8	1,419	△15.7	1,380	△16.5	853	△34.3

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,168百万円 (36.7%) 2022年3月期第3四半期 854百万円 (△34.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	40.98	40.91
2022年3月期第3四半期	29.87	29.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	12,157	5,640	46.0	196.04
2022年3月期	9,653	4,574	46.9	159.06

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 5,588百万円 2022年3月期 4,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期 (予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,700	1.6	2,200	38.3	2,100	36.2	1,100	36.3	38.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	28,508,025株	2022年3月期	29,072,699株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	621,566株	2022年3月期	637,366株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	28,473,581株	2022年3月期3Q	28,569,388株

(注) 株式会社日本カストディ銀行(以下、「ESOP信託口」という。)が所有する当社株式595,800株(議決権の数5,958個)につきましては、上記期末自己株式数に含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2022年1月30日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「with entertainment」を存在意義として掲げており、人々の期待を超えるサービスを生み続けていくことを目指しております。また、今までになかった価値を創造し、ユーザーを魅了する体験を届けていくことに努めております。中期的には、IPを軸に、多様なデジタル・エンターテインメント・コンテンツをグローバルに提供する総合エンターテインメント企業となっていくことを掲げており、持続的成長及び企業価値向上を目指しております。

主力のゲーム事業においては、ゲームの開発・運営が主要事業となっており、他社IPゲーム及びゲームプラットフォーム並びにオリジナルゲームの開発・運営を行っております。また、メディア事業においては、次世代の主力事業創出を目的とした事業開発を行っており、当社の有するインターネットサービスの知見を活かした新規サービスを試験的に立ち上げ、事業化に向けた試行を重ねております。

当第3四半期連結累計期間においては、売上高8,380,181千円(前年同期比3.7%増)、営業利益2,100,620千円(同47.9%増)、経常利益2,025,427千円(同46.7%増)となりました。なお、運用中の1タイトルにおいて減損処理を行ったことで、特別損失336,259千円が発生し、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,166,723千円(同36.7%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間における各セグメントの業績は以下の通りです。

ゲーム事業

ゲーム事業においては、8周年を迎えた当社主力タイトルの1本であるIPゲームタイトルがIPの盛り上がり牽引され好調さを維持し、収益に貢献いたしました。

売上高につきましては、当社主力IPタイトルが好調さを維持したことに加え、昨年度に新規タイトルをリリースしたこと等により、前年同期比で増加いたしました。

利益につきましては、主力タイトルの増収影響に加え、運用体制の効率化や一部の不採算タイトルをクローズしたこと等により、前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は8,152,936千円(前年同期比2.3%増)、セグメント利益は2,460,783千円(前年同期比50.7%増)となりました。主力事業である当セグメントにおいては、引き続き運用中タイトルの安定的な収益の維持に努めるほか、開発中の複数の新規タイトルのヒットによる売上、利益の増大を目指して参ります。

メディア事業

メディア事業においては、Twitterを活用したファンコミュニティ促進サービス『Rooot』が引き続き収益に貢献いたしました。また、IPの開発・獲得、育成、収益化チャンネルの多様化を目的として出版・映像事業に取り組む中、10月よりライトノベルレーベル「DREノベルズ」の刊行を開始いたしました。さらに、Web3領域における新たな事業開発にも注力しております。

売上高につきましては、Twitterを活用したファンコミュニティ促進サービス『Rooot』の好調に加え、ライトノベルの刊行開始に伴い、前年同期比で増加いたしました。

利益につきましては、出版・映像やWeb3などの新規事業領域への投資を行っており費用先行が継続しているため、損失額は前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は227,244千円(前年同期比107.6%増)、セグメント損失は360,162千円(前年同期はセグメント損失212,766千円)となりました。当セグメントにおいては、中長期的な事業成長を目指し、積極的な投資を促進して参ります。

今後につきましては、主力のゲーム事業において一層の採算性向上に取り組むほか、新規タイトルのリリースによる売上成長を目指してまいります。また、ゲーム以外のエンターテインメント領域での事業開発に注力し、IPを軸とした総合エンターテインメント企業へ成長してまいります。さらには、既存事業とWeb3領域を融合させることで、成長戦略を推進してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結累計期間末における流動資産は8,208,278千円となり、前連結会計年度末に比べ1,442,269千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1,534,761千円増加したことによるものであります。固定資産は3,949,283千円となり、前連結会計年度末に比べ1,061,822千円増加いたしました。これは主にソフトウェアが518,803千円減少したものの、ソフトウェア仮勘定が1,442,840千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は12,157,562千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結累計期間末における流動負債は3,382,527千円となり、前連結会計年度末に比べ672,610千円増加いたしました。これは主に未払法人税等が173,096千円、銀行による借入が342,000千円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は3,134,989千円となり、前連結会計年度末に比べ765,510千円増加いたしました。これは主に銀行による借入が789,000千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は6,517,516千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結累計期間末における純資産合計は5,640,045千円となり、前連結会計年度末に比べ1,065,970千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益1,166,723千円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は46.0%（前連結会計年度末は46.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績及び今後の見通しを勘案し、2022年5月12日に発表した2023年3月期の連結業績予想（通期）の数値を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2023年1月30日）公表の「通期業績予想の修正、及び特別損失の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、連結業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,737,225	6,271,986
売掛金	1,485,317	1,642,300
商品	-	5,137
仕掛品	10,144	20,676
前払費用	157,555	150,550
その他	375,766	117,626
流動資産合計	6,766,009	8,208,278
固定資産		
有形固定資産		
建物	184,236	191,229
減価償却累計額	△13,603	△26,601
建物(純額)	170,632	164,628
工具、器具及び備品	69,030	82,936
減価償却累計額	△33,995	△47,968
工具、器具及び備品(純額)	35,034	34,968
リース資産	7,232	7,232
減価償却累計額	△2,007	△2,832
リース資産(純額)	5,225	4,400
有形固定資産合計	210,891	203,996
無形固定資産		
ソフトウェア	557,325	38,522
ソフトウェア仮勘定	1,333,425	2,776,266
無形固定資産合計	1,890,751	2,814,789
投資その他の資産		
投資有価証券	7	59,926
繰延税金資産	465,737	458,470
敷金	199,404	199,404
その他	120,668	212,697
投資その他の資産合計	785,818	930,498
固定資産合計	2,887,461	3,949,283
資産合計	9,653,470	12,157,562

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	357,864	423,425
短期借入金	146,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	808,000	1,196,000
リース債務	1,281	1,281
未払金	579,036	620,987
未払法人税等	142,079	315,176
賞与引当金	138,497	65,363
その他	537,158	660,293
流動負債合計	2,709,917	3,382,527
固定負債		
長期借入金	2,014,000	2,803,000
リース債務	4,806	3,845
資産除去債務	100,000	100,000
その他	250,671	228,143
固定負債合計	2,369,478	3,134,989
負債合計	5,079,395	6,517,516
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,792,991	1,811,311
資本剰余金	2,050,152	2,068,472
利益剰余金	953,681	1,975,162
自己株式	△274,029	△266,212
株主資本合計	4,522,796	5,588,734
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7	145
為替換算調整勘定	-	△296
その他の包括利益累計額合計	7	△150
新株予約権	49,067	49,067
非支配株主持分	2,203	2,393
純資産合計	4,574,075	5,640,045
負債純資産合計	9,653,470	12,157,562

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	8,078,020	8,380,181
売上原価	5,057,371	4,692,793
売上総利益	3,020,648	3,687,388
販売費及び一般管理費	1,600,665	1,586,767
営業利益	1,419,983	2,100,620
営業外収益		
受取利息	26	24
受取配当金	-	3,066
その他	276	2,156
営業外収益合計	302	5,247
営業外費用		
支払利息	34,096	30,984
支払手数料	-	47,003
為替差損	4,085	-
その他	1,271	2,452
営業外費用合計	39,454	80,440
経常利益	1,380,831	2,025,427
特別利益		
新株予約権戻入益	4,195	-
特別利益合計	4,195	-
特別損失		
減損損失	75,399	336,259
特別損失合計	75,399	336,259
税金等調整前四半期純利益	1,309,627	1,689,168
法人税、住民税及び事業税	303,214	513,472
法人税等調整額	151,909	7,206
法人税等合計	455,124	520,679
四半期純利益	854,503	1,168,489
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,246	1,765
親会社株主に帰属する四半期純利益	853,257	1,166,723

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	854,503	1,168,489
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	100	138
為替換算調整勘定	-	△296
その他の包括利益合計	100	△157
四半期包括利益	854,603	1,168,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	853,357	1,166,565
非支配株主に係る四半期包括利益	1,246	1,765

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	ゲーム事業	メディア事業	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	7,968,562	109,457	8,078,020	—	8,078,020
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,968,562	109,457	8,078,020	—	8,078,020
セグメント利益又は損失(△)	1,632,750	△212,766	1,419,983	—	1,419,983

(注)セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致していません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	ゲーム事業	メディア事業	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	8,152,936	227,244	8,380,181	—	8,380,181
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,152,936	227,244	8,380,181	—	8,380,181
セグメント利益又は損失(△)	2,460,783	△360,162	2,100,620	—	2,100,620

(注)セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致していません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「ゲーム事業」セグメントにおいて減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において336,259千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。